

『がん終末期患者の傾向摂取が減少してから亡くなるまでの期間の調査』

【目的】経口摂取が減少してから看取りまでの中央値を出す事で、患者さんと家族が一日でも長く向き合える有意義な時間を過ごすための支援に繋げる。がん終末期の患者さんが経口摂取減少してからなくなるまでの期間を明らかにする。

【期間】2023年11月13日～2024年3月6日

【方法】

＜対象となる患者さん＞

当院緩和ケア病棟で死亡退院された方（入院、転入時すでに絶食であった方、点滴を実施していた方は除く）2020年4月～2022年3月

＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし

情報：年齢、性別、主疾患、経口摂取量 など

【試料・情報の管理責任者】

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
院長 細野 昇

◎研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく研究責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく下記連絡先までお問い合わせください。また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産権の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

独立行政法人地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター

〒573-8511 大阪府枚方市星丘 4-8-1

TEL (072) 840-2641 (代)

所属・職名 第2病棟 ・ 看護師

研究責任者 徳久 俊子